	表彰の種類		事業場名等	概　　要
1	安全確保対策	優　良	クアーズテック株式会社 秦野事業所	事業場規模　100名以上300名未満 窯業土石製品製造業（高純度シリコン単結晶部材、セラミックフィルターの製造） 【表彰理由】 ・安全衛生マネジメントシステムが構築されていること。安全衛生計画に基づいて、自主的かつ計画的な安全衛生活動が活発に展開されていること。その取り組みにおいて、リスクアセスメントの評価基準の確立や、非定常作業における労働災害を防止するためのロックアウト・ダクアウトの導入、安全教育の理解を深めるための体感道場の設置、身体への負担を減らすべく設備設計や作業標準作成時のエルゴノミクス評価の導入といった、労働災害を抑制するための工夫が認められること。 　これらの取り組みの結果、平成19年6月以降、無災害が継続されていること。
2	安全確保対策	奨励	株式会社パイロットコーポレーション 　平塚工場	事業場規模　300名以上500名未満 その他の製造業（ボールペン、万年筆、プリンタリボン、宝飾等の製造） 【表彰理由】 ・安全衛生マネジメントシステムが構築されていること。リスクアセスメントの結果に基づき、NC旋盤の導入（複数の段取り作業の一本化）や射出成型機の金型の見直し（重量の低減、取付方法の見直し）など、生産工程を含めて、より一層職場のリスクを下げるべく取組みが行われていること。 ・リスクが高い作業に応じた専門委員会を設置（プレス、重量物運搬安全衛生委員会等、全8つ）し、それぞれの分野における担当者を育成するとともに、対策を講じさせている。 ・事業場として、転倒災害防止への取り組みが行われている。 　これらの取り組みの結果、平成25年12月以降無災害が継続されていること。
3	安全確保対策	奨励	AGC株式会社　相模工場	事業場規模　500名以上 窯業土石製品製造業（自動車用ガラス） 【表彰理由】 ・安全衛生マネジメントシステムが構築されていること。災害件数のみならず、職場のリスク低減を安全衛生目標に掲げ、積極的に労働災害防止が推進されていること。 ・古い設備がもつリスクに着目し、継続的改善に取り組んでいること。また、取り組みにあたって、他職場の者を加えることで、慣れによる主観的な評価に陥らぬよう工夫がなされている。 ・新規設備については、事前審査制度（設計時、試運転前、量産前の3段階）が充実している。 ・CEOがモデルとなった安全ポスターが、事業場に掲示されている。 　これらの取り組みの結果、平成26年2月以降無災害が継続されており、無災害記録時間が827万時間に達していること。

4	安全確保対策	奨励	株式会社サーブ	事業場規模　100名未満 衣服その他の繊維製品製造業（ジーンズの加工） 【表彰理由】 ・100名未満の事業場であるが、経営首脳者による安全衛生方針が策定され、企業として労働災害防止に取り組む姿勢が明確にされていること。 ・リスクアセスメントが実施されており、工場内のすべての機械設備に係るリスク評価が終了している。また、多品種が用いられている化学物質について、リスクアセスメントが実施されている。 　これらの取り組みの結果、平成22年1月以降、無災害が継続されていること。
5	功績		森山　哲（もりやま　てつ） （所属） 一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会　神奈川支部長	平成28年以降、日本労働安全衛生コンサルタント会　神奈川支部長として、厚生労働省の重点施策に係る委託事業へ積極的に関与し、また行政が実施する研修会に、専門家を派遣するなどして、神奈川県下の事業場の安全衛生水準向上に多大な貢献をした。
6	功績		河﨑　茂（かわさき　しげる） （所属） 建設業労働災害防止協会神奈川支部　川崎北分会長(同支部常任理事)	平成2年以降、建設業労働災害防止協会神奈川支部役員及び同支部川崎北分会役員を歴任し、墜落・転落災害防止対策の推進、現場の安全パトロール及び各種教育への受講勧奨等を通じて、労働災害防止活動を積極的に推進し、神奈川県内及び川崎北署管内における建設業界の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした。
8	安全衛生推進		田中浩二（たなか　こうじ） （所属） 元　公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会横須賀支部　事務局長	神奈川労務安全衛生協会横須賀支部の事務局長として、各種講習会等の企画運営、機関誌発行等の活動及び改正法令の周知を行い、会員事業場等の安全衛生管理水準向上及び定着化に尽力した。加えて、災害防止団体等連絡協議会が主催する全国安全週間及び全国労働衛生週間の横須賀地区推進大会で、その企画・運営について中心的な職務を担い、横須賀地区の安全衛生管理水準の向上に多大な貢献をした。